

秋のレクリエーション

2018/11/22 伊勢地区

世界遺産高野山の神秘さに感動

世界遺産「高野山」奥の院と壇上伽藍へ、40名がバス旅行。ベテラン説明員の案内で墓碑群を巡りました。皇族や歴史上の武将、企業の創始者などなど、供養塔・灯籠・慰霊碑は20万基（40万基とも）以上立ち並んでおり、総本山の聖地の神秘さ、規模の大きさに圧倒されました。2時間ほどの散策とお参りを終え、「久しぶりに訪れたが、想像以上に感動した」の声も聞かれました。帰路のバス車内では、会員友人の塾講師の方による「漢字クイズ」や恒例の「ビンゴ」で盛り上がりました。



2018/11/12 伊賀地区

ガタンゴトンのトロッコ列車

6組のご夫婦を含め24名が参加し、秋の京都へ。観光シーズンで車や人も混み合う中、京都嵐山に到着。ここで散策やショッピングを自由に楽しみ、トロッコ嵯峨駅前全員集合。駅舎内は、中国人を始め観光客でごった返していました。ガタンゴトンと座り心地が悪いですが、なぜか風情を感じます。車窓から保津川下りの小舟を眺めながら、終点亀岡駅に到着。昼食は「玉川楼」で4段重ねの京風松花堂弁当に舌鼓。その後、サントリー京都ブルワリーでビールの製造工程を見学した後「ザ・プレミアム・モルツ」など1人3杯まで試飲。バス内ではじゃんけんゲームなどに興じました。



2018/12/19 伊賀地区忘年会

この人も歌うの？

ゴルフ部会の定例コンペの後、歩こう会などの部会も合流し、名張市つつじが丘の中華料理店で忘年会を実施しました。



勝田さんの挨拶と乾杯の音頭の後（写真上）、カラオケに。普段歌わない人の演歌が飛び出すなど、深夜まで歌い続けました。



2018/12/16 鳥羽で一泊懇親会

ギター演奏に喝采！

鳥羽かんぼの宿で支部役員、部会長、リーダー、など15名に参加いただき、夕食会・カラオケ懇談などの一泊懇親会を開催しました。松阪地区の奥川さんがハーモニカ・ギターの演奏を披露され、（写真右）大喝采を浴びました。

翌朝には有志で浦村の牡蛎（かき）を食べに行くなど、楽しいひとときを過ごしました。



社会貢献

楽しい踊りで笑顔を届ける

老人ホームへの訪問や地域の催しで

伊澤 晴子さん（松阪）

32年前に公民館の趣味クラブである「紀乃元流新舞踊教室」に参加したのがきっかけで踊りを始め、毎年11月には文化祭で成果を発表してきました。その2年後、踊りの基礎から学ぼうと、松愛会の中村幸代さんが主宰する「瑛穂教室」に入り、曲の内容や振り付けによって女踊りや男踊りなど自由自在に踊れる楽しさなどを学び、段々と魅力を感じるようになりました。

22年前、老人ホームから「瑛穂教室」に依頼があり、年6~8回慰問を兼ねて踊りを披露しており、私も年2回は参加しております。ホームでは利用者の方から喜んでいただける懐かしい曲、テンポが良く明るい曲を中心に、明るめの衣装を着け、皆さんの手拍子と笑顔をもらいながら踊っています。また各地区の老人会や1人暮らしの集いなどにも参加しています。

現在所属している「紀乃元流瑛穂会」には会員が約70名所属しており、4、5年に1度は文化会館である「舞のつどい」に参加しています。中村さんは昨年12月、新舞踊を通じて地域住民から感謝されている「善行部門」で、松阪市から表彰されました。私たち会員も大変喜んでます。家元主催の大きな舞台に向けて難しい振付を覚える稽古が大変ですが、舞台上で踊る緊張感と無事に踊れた後の安ど感は特別です。



伊澤さん



老人ホームで大歓迎される瑛穂会の皆さん
（右から3番目が中村さん）



踊りを披露する伊澤さん（左端）

今後とも元気にカツラや衣装を着けて踊れるよう、足腰を鍛え、楽しく稽古に励み、慰問活動にも参加していきたいと思っています。

（伊澤 晴子）

クラブ探訪 アマチュア無線

災害発生時にも威力



ハローCQ CQこちらは〜〜〜と言うせりふを聞かれた方もおられると思います。これはアマチュア無線家（通称：ハム）が交信相手を探す時の呼びかけです。以前はハム人口も多くいましたが、携帯電話の普及により減少傾向です。でもまだ多くの仲間が日々活動しています。日常の交信で楽しむ以外に、災害発生時に通常の通信手段が使えない場合にもハムは活用できます。

松愛会本部にもハムクラブがあり、地方支部では横浜西に続き三重支部が2番目の同好会です。以前に免許をお持ちだった方、これから始めてみようとお考えの方は一緒に活動しませんか？（部会長 関 守）

